



# ノアの爽風

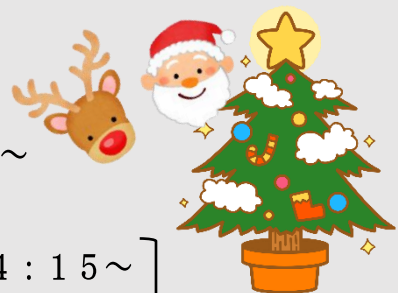


### ～目次～

- 病院短信『マイナ保険証ふたたび』 医事課
- 作業療法科だより
- 看護日誌
- 日常の一コマ
- 『お屋のお散歩』 主演 ナナ

## 12月の予定

- ◆ キャンドルサービス  
25日(水) 14:30～
  - ◆ 誕生日会  
1病棟: 13日(金) 14:15～  
2病棟: 12日(木) 14:00～  
3病棟: 11日(水) 14:00～
- 各病棟にて



## おやつバイキング

栄養科手作りケーキいっぱいの中、至福のひと時です(\*´▽`\*)

たくさん食べるよ!

皆さん、沢山食べてくださーい!

お代わりできますよ～

美味しいものを食べて笑顔いっぱいですね(#^\_^#)

皆さん黙々と...

ふ～大満足!

## お屋のお散歩

ナナの心の声が聞こえるよ!

これからお散歩行くのだ(´0`)/

散歩よりおやつだね!!

まずは、この辺でおしっこ(#´.´#)

おいしそう?

あっち行きたい。

そうねえ～考えとくわ(´▽`)

おやつ・おやつ おやつほどこ!

ナナは毎日の散歩を楽しみにしています♥なぜなら外は美味しい香がいっぱいです(\*´ω`\*)

いつもの缶で(´ω´)クンクン

おやつは何もなかった～明日こそは!

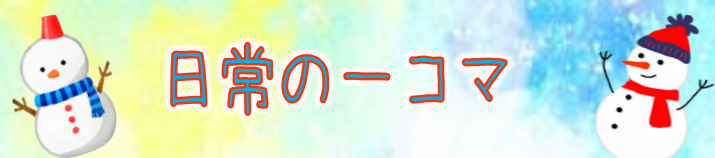
最後は鉄板で(´▽`)スリ～スリ～



『マイナ保険証ふたたび』

昨年の11月号でマイナ保険証の事を書きました。それから1年経ち、12月2日より本格運用が始まります。マイナンバーカードをお持ちでない方の保険資格確認については、厚生労働省より指針が示されており、ご入院中の患者さんについて言えば、12月2日以降も住所変更等が無い限り現在の保険証が有効期限まで使用できます。12月2日以降、住所変更等で保険資格が変更になった場合や75歳に到達し後期高齢者医療保険に変更になった場合、有効期限が切れた場合は、新たな健康保険証は発行されませんが、その代わりに資格確認書が発行されますので、こちらをご提示いただくようになります。この資格確認書で保険診療が可能ですので、当面は患者さんのマイナンバーカードを作成しなくても大丈夫です。また、前回書いた「オンライン資格確認」システムを使用して患者さんの保険情報は当院でも確認しておりますので、何か変更が確認できた時は当院からご連絡をさせていただきます。新たな資格確認書のご提示をお願いする場合がございます。次に前回も指摘しました、認知症患者

者さんに対するマイナンバーカード作成の煩雑さは解消されておりませんが、依然として本人とご家族の本人確認の書類は必要になりますし、追加で患者さんが入院中である旨の診断書や委任状、あるいは法定代理人の登記事項証明書が必要になる場合もあります。さらに、患者さんの意思確認が判断できないとされた場合はカードの作成が断られる場合もあります。また、指定難病等の受給者証の一体化も一部自治体での先行実施にとどまり、オンライン資格確認に実装されていませんので、引き続き紙の受給者証をご提示いただくことになり、この辺りは前回書いた時と余り状況は変わっていません。それでもオンライン資格確認システムを使用して、減額認定証のご提示が無くても減額認定の対象であることが分かったり、保険証切り替えの時期に新たな保険証の提示が無くても、保険資格の有無が分かると、医療機関・患者さん・ご家族にとつてメリットのある制度であることは間違いありません。医療機関は国の方針に逆らうことが出来ないのです、ご家族の皆様には何かとご不便・ご面倒をおかけすると思えますが、各種ご案内をさせていただきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



日常のーコマ

今月は1病棟のヒロアキさん（93歳）です。ヒロアキさんは東京都生まれですが、戦争で川越に疎開し、そのまま川越で育ちました。大学卒業後は製菓会社の営業マンとなり、26歳の時に奥様とお見合結婚され、2人のお子様に恵まれました。息子さんのお話では、どちらかと言えば仕事人間で全国を飛び回る営業マンだったそうです。定年後は家業の雑貨屋の手伝いをしながら、親戚や高校時代の友人と旅行に出かけていたそうです。仕事で全国を回っていたこともあり、地理に強く北から南まで様々な所を旅行したそうです。また、若い頃から阪神ファンで「俺は弱いチームだからこそ、逆に応援するんだ。」と言って応援していたとのこと。



そして85歳の時、物忘れの症状が出始め、87歳頃から89歳頃にかけてボーっとしたり、幻視や物盗られ妄想も出るようになり、神経内科で軽度の脳梗塞と認知症を指摘されました。その後デイサービスを利用し始め、通所を楽しみにしていました。そして90歳の時、認知症状が更に進行し在宅での介護が難しく、当時通っていた病院の紹介で令和4年4月当院に入院されました。



入院当初も帰宅願望が強く、「バス停まで連れて行って」と大声が出たり、介護抵抗も見られていましたが、そのような時はお茶に誘ったり、訴えを聞いたりがしながら気分が落ち着くのを待っていました。環境に慣れた今では、作業療法の映像の会に参加し、笑顔で楽しそうに観ていたり、昔の歌を鼻歌で歌ったり、手を叩いてリズムを取ったりしています。また、テイルームで野球中継を観たりととても穏やかに過ごされています。お食事もご自分で召し上がる時と半分介助で召し上がる時がありますが、全量召し上がっておられます。また、睡眠も朝までぐっすりとお休みになられています。穏やかな生活が続くよう、手助けしていきたいと思えます。

作業療法科だより

恒例の芋煮会を開催しました！今年はさつまいもだけでなく、セントノア産の大根やカブも皆様に味わっていただきました。セントノア畑では患者様に植えていただいた白菜やほうれん草もすくすく育っています。今から冬の味覚も楽しみです！



看護日誌

日増しに寒さが増す今日この頃、いかがお過ごしでしょうか？病棟ではインフルエンザの予防接種が始まり、冬が迫っていることを実感しています。これからの時期、インフルエンザをはじめ、ノロウイルス・ロタウイルス等の感染性胃腸炎が流行し始めます。また、周囲で耳にすることは少なくなっているかと思いますが、コロナウイルスも12月から2月にかけて増加する傾向にあるので注意が必要です。マスクの着用・手洗い・うがい・手指消毒の徹底は今まで通り継続し、冬は加えて加湿（50～60%）・こまめな換気を行い感染予防に努めましょう。また、十分な休息・栄養を摂り、体を温め、免疫力をつけて、感染症に負けず、冬を乗り切りましょう。

